

# 平成 17 年度工学研究科・工学部技術部 特別講演会報告

研修担当代表 森田千明

標記の特別講演会を開催した。参加者は51名であった。プログラムは以下のごとくである。今年度はマテリアル理工学専攻 量子エネルギー工学分野 山根 義宏 教授から「技術職員に期待するもの」および工学研究科・工学部事務部 鈴木和夫 事務部長から「国立大学法人化後における本学と他大学の動向」の講演を頂いた。

山根教授のご講演の前半では、核燃料を扱う原子炉以外の施設でいかなる場合にも臨界を阻止する臨界安全と経済性の両立を図る工学のあり方、核分裂により放出される中性子の計数値の揺らぎの特徴から未臨界度を推定する未臨界度連続監視技術及び新たな加速器駆動未臨界炉開発(J-PARC構想)などの研究課題について、ご講演を頂いた。また、後半の「職員に期待するもの」では、全学技術支援委員会の専門委員会あるいは専門委員会WGの委員としての立場から、技術職員と教員との結びつき、業務依頼のあり方及び働く場所の問題などの意見交換を進める際、研究科の規模、組織文化の違いの相互理解の重要性について、ご講演を頂いた。

「国立大学法人化後における本学と他大学の動向」のご講演では、鈴木事務部長の他に松川総務課長にも参加して頂き、対話形式で講演を頂いた。その際、勤務時間と教育・研究現場の活動時間との整合性を背景として、時間外勤務に対応すべくフレックスタイム制度導入への問題点。また、今後の運営交付金(人件費)の動向にかかわる早期退職制度及び高年齢者雇用安定法の改正による再雇用制度への対応など、国立大学法人化後の職場環境の変化について意見交換を行った。

## 平成 17 年度工学研究科・工学部技術部 特別講演会プログラム

主 催：工学研究科・工学部 技術部

日 時：平成17年10月17日(金) 13時30分～17時

場 所：VBL3階 ベンチャーホール

13:10 受付

1. 13:30 開会の挨拶

副研究科長 教授 小野木 克明

2. 13:50 講演「技術職員に期待するもの」

マテリアル理工学専攻 量子エネルギー工学分野 教授 山根 義宏

14:50 [休憩]

15:00 講演「国立大学法人化後における本学と他大学の動向」

工学研究科・工学部事務部 事務部長 鈴木 和夫

3. 16:00 閉会の挨拶

統括技術長 林 達也